

知立市の小中学校 令和8年度の挑戦

知 育 立 志

知ろうとする探究心を育て 志を立てたくましく歩む子を育てる

令和8年度 学校教育方針

- 1 学び続ける力を育む教育を進める。
- 2 豊かな人間性を育む教育を進める。
- 3 健康や体力を育む教育を進める。

令和8年度 重点努力事項

1 学び続ける力を育む教育

学ぶことに興味関心を持ち、個性を生かして他との協働によって考えを深め、知識や情報を関連付けて多様な課題を主体的に解決する姿勢を育むと共に、個々の能力や適性に合わせた学習を行うことにより、思考力、判断力、表現力等の向上を図る。

2 豊かな人間性を育む教育

人権教育や道徳教育、多様な体験活動を充実させることにより、自己肯定感を高め、自他を大切に育む姿勢を育て、いのちを尊ぶ態度、多様な考えを受け入れる姿勢、規範意識の高揚を図る。

3 健康や体力を育む教育

心身の健康、食や体力に対する意識を高め、望ましい食生活や運動の習慣化を図ることにより、生涯にわたって安全で健康的な生活を営む資質の育成を図る。

4 きめ細やかな指導の充実

一人一人の教育的ニーズに即した指導を進めるために、少人数指導や特別支援教育・外国人児童生徒教育等の指導法を工夫し、教育環境の充実を図る。

5 学校・家庭・地域との連携の推進

地域に根ざした特色ある教育活動を実施するために、学校・家庭・地域との連携を密にしたコミュニティ・スクールの組織を構築し、積極的に情報発信を行うとともに、保護者、地域人材の教育活動への参画の推進を図る。

6 教職員の資質向上と働き方改革の推進

教職員の自己研鑽を支援し、研修の機会を創出するとともに、教育活動の多面的な見直しと望ましい働き方の実現を図る。

知立小学校

校長 伊藤 雅彦
児童数 805 人
学級数 29 学級

本校の特徴

150年以上の長い歴史を誇る学校であり、心のよりどころとして学校に寄せられる期待は大きく、地域と連携して教育活動に取り組んでいます。

昭和50年度に始まったおあさこ運動(おはよう ありがとう さよなら ごめんなさい)に継続して取り組み、心と心をつなぐあいさつを大切にしています。

今年度の挑戦

『笑顔あふれる学校』の実現をめざし、生きる力を育む教育活動に取り組めます。

○主体的に学び続ける子の育成

子ども自身が自己の学びをデザインできるよう体験活動や問題解決の過程を重視し、子どもたちが「分かった」「おもしろい」と実感できるように学習展開の工夫を図ります。また、学習をとおして、子どもの自己有用感を高めるように努めます。

○心と体を育む活動の充実

人権教育を礎に、命を大切に、他人を思いやる心を育て、「おあさこ運動」やあたたかな言葉や態度、他者とのきずなを大切に育む子育てます。また、生涯にわたって安全で健康的な生活を営むことができるたくましい心と体を培います。

○地域から大切にされる学校・地域を愛する子どもたちを育てる学校

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の活動を中心に、社会に開かれた教育活動をさらに展開します。授業で地域の方をゲストティーチャーとして招くだけでなく、今年度はクラブ活動も年間をとおして参画していただきます。子どもと地域の方が互いの思いや願いに触れ合いながら、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの成長を支えていきます。

知立西小学校

校長 橋本 幸
児童数 520 人
学級数 21 学級

本校の特徴

開校53年目。45分放課を生かした「なかよし活動」(異学年集団活動・縦割りグループ活動)、「食まるファイブ」を活用した食育、他のかかわり合いを通して学習活動によって、豊かな人間性の育成に取り組んでいます。

今年度の挑戦

自他を大切に、何事にも挑戦する「たいようの子」が育つ学校

○「学び続ける力」の育成

体験活動を生かした学習活動を推進し、学びへの意欲を高め、学び続ける力を育みます。

○「豊かな心」の育成

教育活動全体を通して、道徳教育・人権教育等の充実を図り、「豊かな心」を育みます。

○「健やかな体」の育成

外遊びや食育等を通して、「健やかな体」を育みます。

○「あたたかい人間関係」の構築

困ったときには、ためらわずに周りに助けを求めたり、互いに励ましあったりすることができる人間関係づくりを推進します。

八ツ田小学校

校長 鈴木加代子
児童数 415 人
学級数 19 学級

本校の特徴

開校51年目。昭和51年の開校当初から多くの体験活動を行ってきました。現在は、畑での野菜栽培、米作り、命の教育、伝統芸能(雅楽・山車文楽)など、地域の専門家を講師に招いた多くの体験活動をカリキュラムに取り入れ、人と人とのつながりを大切にした活動を行っています。

平成28年度より「八ツ田式学級力向上プロジェクト」を取り入れ、子どもたちが自分たちの手で学級や学校をよりよくする活動を行っています。

今年度の挑戦

「つよく(健)正しく(正)美しく(美)」を根底に、

○一人一人を活かし、一人一人が活きる学校

一人一人のよさを発見したり、よさを生かして活動したりする中で自らの価値や成長に気づかせます。

・人と人とのつながりを感じられる、協働して活動する場を意図的につくり、互いのよさと幸福感を感じられる「あたたかい学校」づくりを進めます。

・仲間と協力しながら、考えて行動する活動を通して、主体的に学び続ける児童の育成を目指すとともに、学力の向上に取り組めます。

○「あたたかい学校」あいさつ

「あ」いさつ 「い」のち 「う」たごえ 「え」がお 「お」もいやり を合言葉に、あたたかい人間関係を育みます。

○学級力向上プロジェクト

自分たちの考えで、クラスをよりよい方向へ作り上げていく「学級力向上プロジェクト」を人間関係づくりの核とし、互いを尊重しながら成長できる学級づくり・学校づくりを行います。その中で、「他者意識」「達成感」「自己有用感」「自己肯定感」を高めます。

知立南小学校

校長 大島 稔
児童数 705 人
学級数 28 学級

本校の特徴

昭和54年4月に市内7番目の小学校として開校し、48年目を迎えます。

子どもたちの笑顔と健やかな成長を願い、コミュニティ・スクール(みな丸会)を中心に学区三町(谷田・新林・西中)と連携しながら、地域・保護者・学校が一体となった活動を推進しています。また、今秋も渡り蝶のアサギマダラが訪れてくれることを願い、環境整備を進めていきます。

今年度の挑戦

○学び続ける力を育む教育

授業の中で、体験や本物に触れる活動を大切にし、子どもたちの感性を育てながら、学ぶことへの興味や意欲を高めます。

基礎・基本の確実な定着を図るとともに、互いを認め合い、関わり合いながら学び合う授業づくりを進め、子どもたちが自ら学び続ける力を育みます。

○豊かな人間性を育む教育

子どもたちが他者や集団との関わりの中で、自分の存在を価値あるものとして感じられるよう、学校行事や委員会活動、学級活動など、さまざまな場面で子ども主体の活動や異学年交流を推進していきます。

子ども同士が関わり合う時間を大切にし、互いを理解し支え合う関係づくりを進めていきます。また、人権教育を重視し、自他の命を尊重する態度を育てていきます。

○学校・家庭・地域との連携推進

コミュニティ・スクールを中核とし、地域と協働しながら地域のよさを生かした教育活動を進めます。外部指導者や地域ボランティアを積極的に活用し、地域を愛し主体的に行動できる実践的な態度の育成を図ります。

猿渡小学校

校長 杉浦 正明
児童数 406 人
学級数 17 学級

本校の特徴

南に猿渡川が流れ、東に「弘法さん」遍照院と昔ながらの味わいのある弘法通、西に「パティオ池鯉鮒」知立市文化会館、北に消防署などの施設があります。人情味あふれる地域の中で校訓「まじめに 明るく がんばる」を基盤とし、学校・家庭・地域の連携を大切に教育活動に取り組んでいます。

今年度の挑戦

『主体的に学ぶ、心豊かで、元気な子供』の育成を目指します

① 学校が安心して過ごせる場所となる「居場所づくり」の推進

児童一人一人の言動を学級担任を中心とした全職員チーム体制で注意深く見守り、個の特性の理解を図ります。

児童が学ぶことに興味・関心を持ち、他との協働によって個々の考えを深め、課題を解決する「分かる できる 楽しい授業」づくりに努め、児童の「学び続ける力」の育成を図ります。

② 社会性を身に付ける「絆づくり」の推進

児童が互いをよく知り、それぞれの力を発揮しながら尊重し合い、ともに成長する喜びを実感できる集団づくりを推進します。

③ 心身の健康と体力向上の推進

道徳科の学びや体験活動を通して、他者の主体性を尊重しながら自らの行動を決断し、実行する力を育む教育活動を推進します。

体育科授業の工夫や「猿渡っ子体操」の活用、委員会活動を通して外遊びの推奨を図ります。

来迎寺小学校

校長 吉富 靖
児童数 564 人
学級数 22 学級

本校の特徴

市の北東部に位置し、今年度は開校153年目を迎えます。遊歩道沿いの桜並木、校庭のくすのきがシンボルの伝統ある学校です。

コミュニティ・スクール(来小はぐくみ会)の活動を通して、学校と家庭、地域が力を合わせて子どもたちの豊かな成長を支えます。

今年度の挑戦

来迎寺スタンダード(①②③④)を通して、未来を担う子の資質・能力を育てます。今年度は、特に「①確かな学力の育成」について、協働学習を通して学び合う活動や学びを深める活動を充実させます。

重点目標

① 確かな学力の育成(知)「わくわく」学びづくり

「学ぶ楽しさ」や「分かるうれしさ」を実感できるよう、仲間と学び合い高め合う協働学習を推進するとともに、ICTを効果的に活用し、個別最適な学びの実現に努めます。

② 豊かな心の育成(徳)「いきいき」心づくり

道徳教育や体験・交流活動の充実を通して、自他の生命を尊重する心や、多様な考えを受け入れ尊重する心の育成、あいさつの奨励を進めます。

③ 健やかな体の育成(体)「すくすく」体づくり

自らの体づくりや食生活に関心を持ち、生涯にわたって自らの健康を適切に管理・改善していく資質や能力を養います。

④ 自己肯定感の育成「どきどき」絆づくり

互いを認め、共感し合いながら温かい人間関係をつくる教育活動を進めます。

知立東小学校

校長 小川 桂
児童数 289 人
学級数 16 学級

本校の特徴

昭和42年4月に開校し、今年度で、60年目を迎えます。「なかよく つよく こんきよく」を校訓に、多様な背景をもつ子どもたちが一人一人の個性を大切にしながら関わり、共に高めていく教育を進めています。

今年度の挑戦

様々な教育的機会を通して、多様な背景をもつ子ども同士や地域の方と関わる場をさらに増やし、思いを交わし、その意図が通じ合い、次に生かそうとする心を育んでいきます。こうしたふれあいから、相手や周りのために行動した充実感・達成感を味わい、「笑顔あふれる学校」を目指します。

○確かな学力

多くの教員で子ども一人一人に応じたきめ細かな指導を行うことに加えて、体験的な活動や子ども同士が関わり合う場を増やして、表現力・判断力・応用力の育成に努めます。

○共生・連携

愛知教育大学と連携した共生教育を進めつつ、異学年交流や行事等を通して、他者意識や自己肯定感を高め、さらにコミュニティ・スクールを生かした地域の方とのふれあいを通して、多様な他者を大切にすること多文化共生社会を生かす力を養います。

○健康・安全

体力の向上を図り、人権や命を大切にしようとする心を育みます。

知立中学校

校長 村山 由久
生徒数 618 人
学級数 23 学級

本校の特徴

昭和22年に開校。80年目を迎える歴史と伝統に彩られた学校です。市の中心部に位置し、校庭に聳えるメタセコイア、140m超の廊下、遊歩道沿いの桜並木がシンボルです。

教職員の総意と信頼関係を基盤とした魅力ある教育活動を通して、「生徒一人一人のよさをとらえ、活動を支え、力を伸ばす学校」を目指すとともに、「創造的で活力ある学校」「温かみのある学校」の実現に努力します。

今年度の挑戦

『チーム知立中』で生徒を支える

「一人一人がいきる学校 一人一人をいかに学校」

○豊かな人間性を育む教育

道徳教育や人権教育、特別支援教育の充実を図り、自己肯定感や自他を大切に育む姿勢、多様な考えを受け入れる姿勢など、豊かな人間性を育みます。また、生徒、保護者や地域の方々、教職員にとって温かみを感じ、居心地のよい学校を目指します。

○確かな学力を育む教育

学ぶことに興味関心を持ち、自ら課題を見出して他者との協働により考えを深め、知識や情報を関連付けて課題を解決する姿勢を育むとともに、思考力や判断力、表現力など、確かな学力を育みます。

○健康な心と身体を育む教育

授業や部活動を通してたくましい心身の育成に努め、望ましい食生活や運動の習慣化を図り、自らの健康を適切に管理できる資質や能力など、健康な心と身体を育みます。

竜北中学校

校長 尾崎 淳一
生徒数 736 人
学級数 26 学級

本校の特徴

令和8年度、開校50年の節目を迎える本校は、校訓「錬磨・創造」を基盤に、「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成に取り組めます。

「竜北生」一人一人が「よさ」や「得意なこと」を発揮し、自分も仲間も大切にできる温かい学校を目指して、保護者・地域の皆様と共に教育活動を推進します。

今年度の挑戦

共に学び、育ち、たのしみ竜北中

「自分も大事、他人も大事」という価値観を体現し、一人一人が自分らしさを発揮できる学校

○豊かな人間性を育みます

自他を大切に育む姿勢や命を大切に、人権を尊重する心、寛容の心、社会貢献の精神を育てます。

○分かる授業、個を生かす授業を行います

個に応じたきめ細かな指導や、かかわり合い、認め合い、学び合うことで、学びの「たのしさ」を実感できる授業を行い、学び続ける力を育てます。

ICT機器を効果的に活用しながら、生徒の学習意欲の向上、基礎基本の定着、協働的な学びの充実を図ります。

○「居場所づくり」と「絆づくり」に努めます

教職員は生徒の言葉に耳を傾け、想いに寄り添い、理解することに努めます。コミュニケーション活動を充実させて、温かい人間関係を構築し、全ての「竜北生」が安心して過ごせる学校をつくりたい。

知立南中学校

校長 丹 節生
生徒数 588 人
学級数 22 学級

本校の特徴

昭和57年(1982)知立中学校から分離独立した市内3番目の中学校。旧知立町役場より移した閑院宮殿下御手植松や弓道場があります。多様なルーツをもつ生徒が、多様性や共生、人権を学びながら仲良く楽しい学校生活を送っています。令和6年度からコミュニティ・スクールの立ち上げとともに、南中花火大会(冬まつり)の開催がスタートしました。町内が開催する祭典への出店や独居老人宅へのドアック活動をする「南中みまもる」など地域との活動の輪が広がっています。

今年度の挑戦

思いの実現に向け、学びを組み立て、探究を続ける生徒の育成

○選ばれる南中生

生徒の主体性を大切にし、自他の命を尊び、自己有用感を持ち、明るく行動する生徒を育てます。そして、地域とともに地域に働きかけ、社会の一員として選ばれる南中生となるよう努めます。

○学び続ける力を育む教育

生徒自身で計画し、活動する「NT」(探究の時間)をさらに充実、推進していきます。また、学習では、個別最適な学びの実現を目指し、分かる授業、楽しい授業、個を生かす授業を行い、基礎的学力の定着や活用・表現力の伸長、問題解決能力の向上に努めます。

○共感的な人間関係を基盤とした生徒理解

不登校やいじめの対応を校内教育支援ルームが中心となり、昨年度設置した「Nルーム」の運営を通してかかわりを大切にし、主体性を引き出しながら、共感的な人間関係の確立を図って生徒理解に努めます。